

## 会 議 録

会議の名称	平成24年度第5回富士見市社会教育委員会議
開催日時	平成24年10月6日(土) 午前9時30分～12時
開催場所	教育委員会 2階 会議室
出席者	中澤佳珠代委員、前田憲之委員、羽石貴裕委員 西山ひろみ委員、武田秀規委員、高野昂子委員 長ヶ原美博委員、田尻 円委員、佐藤晃子委員 事務局(生涯学習課長、副課長)
欠席者	1人(児玉亮一委員)
公開・非公開	公開(傍聴人 0人)
会議次第	1. 協議事項 (1) アンケート「地域活動の活性化と次代を担うなかまづくり」の結果について 2. 報告及び連絡事項 (1) 平成24年度入間地区社会教育委員研修会について (2) 第36回人権を考える集いについて (3) その他 3. その他 (1) 会議の開催について
会議資料	①公民館だより(10月号) ②社教連会報No. 71 ③第36回人権を考えるつどいチラシ
会議録確認	西山ひろみ委員

## 会 議 内 容 (要点記録)

### ○ 議長あいさつ

### ○ 報告及び協議事項

#### 1. 協議事項

#### (1) 協議テーマ「地域活動の活性化と次代を担うなかまづくり」の結果について

- ・ 進行議長から、本日の協議は、前回に続き、アンケート「地域活動の活性化と次代を担うなかまづくり」の結果についての意見交換を、二つのグループ「文化活動」と「子ども関係」に仕分けして、順次協議することとし、了承された。

#### ① アンケートの結果の中の、「子ども関係」グループについての意見交換

##### ● 主な意見は以下のとおり。

- ・ PTA、子ども会などは自発的にできた団体ではない。誰かしらやる必要があり、無くなっては困るので、やっているという感じだ。しかし、切実な声は出されている。昔から課題はなかったか疑問である。簡単には解決しないと思う。
- ・ 昔は専業主婦も多く、役員を順番で行っていた。おやつなどを持ち寄り、楽しくやっという感覚で、いろんな話しもしながら会議・行事をこなしていた。しかし、いまは時間を確保することも厳しく、無味乾燥にやっている感じである。せっかくなので、何かしら得られるような活動ができるといいと思う。
- ・ 活動している方に話を聞くと「楽しかった。思い出になった。」ということを知ることが語り継がれているか。積み上げていくことが必要と思う。引継ぎの書類だけを渡すというのはだめである。時間がないので、電話・メールでという時代にはなっている。
- ・ 会議で、いいことを出し合うことになっていない。仕事の押し付け合いになってしまうので、みんなが押し黙っている。
- ・ 役員をずっと行ってきたが、その経験が活かされていると思う。気軽にやってみるという気にさせることが大事である。
- ・ やらなければならないときだったが、引継ぎのときにマイナスのイメージのことばかりが話されてしまう。でも、やってみて楽しいことが多かったが。役員決めなどのときは、黙るか不幸自慢が始まってしまう。やらされる感が強いが、楽しいという魅力があればいいが。
- ・ 役員を受けると大変というイメージがテレビなどマスコミからも伝えられる時代である。できないならやめることも。規約なども含め、時代の変化に合わせて変えていくことも大事ではないか。地域子ども教室など、地域の高齢者にお願いすることが多いが、保護者にも協力を訴えていくことも必要。
- ・ 長い間続いてきた活動なので、問題を解消するというのではなく、現状をしっかりと伝えることを行いたい。プラス思考のことを整理してPRすればいいのではないか。そのような提言をしていきたい。
- ・ なににやりがいを感じているかを伝えることも大事なことと思う。
- ・ アンケートについては、男女比がまちまちであり、考察が難しいと思った。

- ・ 育成会からの回答では、女性のみ16人で、男性がいたらどうなったか考えてしまう。質問5【地域活動の効果・成果】では、①団体とのネットワークができたが多い。質問6【自分自身の変化・効果】では、②人とのつながりができたが多い。
- ・ 質問7【活動上の重視ポイント】では、⑤役員の負担軽減が多いが、育成会からPTA、そして地域活動と活動の変化で見ると、「①バランスの取れたライフスタイル、そして④青少年が関心を持つ取り組みをすること」に変化している。地域の問題に関して、関心が変わってきている。
- ・ 残念なことでは、質問6で、①家庭内の関係がよくなったが少ないということは、家庭内の理解が得られていないと思われる。
- ・ 男性の参加が増えてくることが望まれる。
- ・ 話の場所を作ることが必要である。
- ・ もともとは地域共同体があった。子どもが生まれると個人の子どものみとしてだけでなく村の子どもとして育ててきた。名前も地域の方につけてもらう風習もあった。近所に見せていくことも。個人のことだけでなく、地域の中で認めてもらいという時代であった。地域には、子ども同士の子ども会があり、次に若衆やどという若者の集まりがあった。大人になるための通過地点であった。成人式は通過儀礼としてあった。地域社会で暮らすという習慣が積みあがってきた。しかし、いつの間にか地域共同体が崩壊し、子ども会もなくなり、育成会だけになってしまった。昭和40年から以降は、青年団、子ども会、婦人会とつぶれてきてしまった。この30年の歴史はすごい状況である。家庭教育学級や子どもたちのリーダー研修もやっていた。専業主婦が減り、地域の絆も壊れてきた。その中で、行政が手を入れることから官製という形になってしまった。子どもが一人前に育つためには、家庭と学校だけでは育たないだろう。地域で他の子どもや大人たちと触れ合うことが必要。家庭、学校だけでなく、地域社会で子ども育てる教育力が大事で必要不可欠で、それを誰がやるか。やらないと自分たちの子どもも含め子どもたちが育たない。それを伝えるのが必要で、その役割は社会教育にある。しかし、それをやっていない現状があり、意義がわからず、辛さだけが残るということになっている。
- ・ 過去には戻れないので、以下に新しい組織を作るかということにもなる。これまでの話から、キーワードが出てきたと思う。①無理をせずに長く続けられる組織づくり ②楽しめる、楽しいことを伝える。これらがポイントかと思う。①でいうと、子どもが少なくなっているが、組織などはたくさんある。少ない子どもの奪い合いではなく考える必要がある。同じ行事を何回も行うことはなく、子どもを忙しくさせるためにやっていることではない。
- ・ 子ども関係の組織と町会、行政との関係を組織を継続させるための整理も必要と思う。

② アンケートの結果の中の、「文化活動」グループについての意見交換

● 主な意見は以下のとおり。

- ・ 文化活動などは、自主的に参加していることから、無理に参加しているということはない。
- ・ 若いやり手がない現状で、文化協会の会員構成は50代以降となっている。

- ・ 文化協会の団体数も減少傾向にある。公民館のサークルに入ると満足し、文化協会までは入らない。役員になると会議の回数が多く、一部の負担になってしまっている。
- ・ 魅力作りをしないとだめではないか。公民館のサークルも60代になっている。
- ・ 団体によっては若い人が入っていたが、働く時間が長くなり、やめざるを得ないという方も多くなっている。いろんな社会問題が影響しているようだ。
- ・ 文化協会などいろんな団体を知らない。そういう方も多いのではないか。そういう点では、公民館などのサークル団体などへの声かけも少ないのではないか。PRなども少ないように思う。
- ・ 文化協会、音楽連盟、美術協会、民謡連盟の紹介も必要と思う。ホームページへの紹介はどうか。サークル団体などは紹介している。
- ・ お琴、書道教室など看板を掲げているが、しかし、子どもたちなどを受け付けてくれないことが多い。先生方が忙しく、不定期になることも背景にあるのではないか。インターネットなどで調べられるところに預けてしまうこともある。
- ・ 会議など参加する必要があるときは、複数人で対応する。そのことで、引き継ぎでき、続けていくことが出ると思う。
- ・ 団体活動のわずらわしさがあがり、個人志向が増えている。スポーツカレッジの募集でもチームで行うものは少なく、個人のもは定員オーバーとなっている現状がある。
- ・ 人が集まっているものとして、鶴瀬公民館でいえばつるせ学級などがあり、250人以上が集まり、半数以上が男性。市民大学も同じで、緩やかなもの、サロンなどに集まる傾向がある。みんなが楽しみにしている。緩やかなたまり場、居場所なんだろう。どういう活動すればいいのか検討が必要。
- ・ 公民館のサークルなどは、敷居は低いはず。若い人は忙しいが、きっかけがあれば参加したいはず。若い世代の情報源にはツイッターもある。中学生などでバンドをやっている子は場所を使いたいと思っている。発表の機会があればいろんな協力もしてくれるだろう。
- ・ 質問6で、「自由な時間が少なくなった」ということでの回答で、思う、思わないが同じくらいに分散している。子ども関係とは違っているので、分析ができると思う。

### ③今後について

本日の協議は事務局でまとめるが、今後はグループ単位で検討をお願いしたい。

## 2. 報告及び連絡事項

- (1) 平成24年度入間地区社会教育委員研修会の参加確認について  
10月16日(火)午後0時40分～ 日高市総合福祉センター  
＜参加委員＞羽石委員、長ヶ原委員、武田委員、田尻委員とする。

(2) 第36回人権を考えるつどい

11月12日(月)午後2時～ 三芳町総合体育館  
<参加委員>高野委員、中澤委員

### 3. その他

(1) その他

・次回の日程は、12月1日土曜日、午前9時30分からとする。改めて、通知する。

(閉会)